

大阪はびきの医療センター 腎臓内科研修プログラム

【当科の特色】

当院は大阪府の呼吸器・アレルギー疾患の拠点病院ですが、令和5年から大阪大学腎臓内科の関連病院として診療を開始し、学会活動や研究活動などを精力的に行っています。慢性腎炎、急速進行性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、ADPKDやAlport症候群などの遺伝性腎疾患など幅広い疾患群を診療対象とし、透析回避・腎疾患の根治を目標として診療しており、血漿交換療法や吸着療法などの特殊治療も行っています。他院・他科で発生した急性腎障害に対する治療や、残念ながら腎臓病が進行し末期腎不全となった場合の腎代替療法、透析合併症の治療まで幅広く対応可能です。

【一般目標】

腎疾患に対する診療や血液浄化療法を、専門医としてふさわしいレベルまでスキルアップことを目標とします。また、学会発表・論文作成を通じて、キャリア形成につなげるようにサポートします。

【到達目標】

以下の項目を、3年間の研修期間に習得することを目標としています。

- 1) 基本的な腎疾患診察・病歴確認・診断・治療計画の立案を適切に行うことができる。
- 2) 腎臓超音波検査の実施による病態確認を行うことができる。
- 3) CT・MRIなどを有効に利用することができる。核医学検査（ガリウムシンチ、レノグラム、MIBIシンチ）を行うべき状況を判断できる。
- 4) 尿沈渣・尿化学検査を正しく理解し、治療に利用することができる。
- 5) 腎生検を行うまでと、腎生検実施時のリスクマネジメントを行うことができる。
- 6) エコーガイド下の処置（腎生検・ブラッドアクセス留置）を行うことができる。
- 7) 腎代替療法の適応の判断、導入を行うことができる。
- 8) 腎炎・ネフローゼ・急速進行性糸球体腎炎などに対するステロイド・免疫抑制療法の適切な実施と、合併症予防のための必要な知識を習得することができる。
- 9) 血漿交換や吸着療法などの特殊治療の必要なタイミングを理解し、安全に実施することができる。
- 10) CKDの食事療法を理解し、患者に適切に指導することができる。

【教育・学術活動】

- 1) 定期的な症例検討会で発表し、フィードバックを受けることで問題解決能力を育成します。
- 2) 日本腎臓学会、日本透析医学会、日本内科学会、およびそれらの地方会などの学術会議で発表を行い、各種の専門医資格を取得するようにサポートします。

【週間予定】

	月	火	水	木	金
AM	HD	HD	HD	HD	HD
PM	HD 腎生検	腎生検	HD 腎生検 カンファレンス 抄読会	腎生検	HD シャント手術など

【腎生検】

内訳	症例数
顕微鏡的多発血管炎（MPA）	5 件
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）	2 件
抗糸球体基底膜（GBM）病	1 件
IgA 血管炎（IgAV）	2 件
膜性腎症（MN）	3 件
IgA 腎症（IgAN）	4 件
糖尿病性腎症（DMN）	1 件
感染関連腎炎（IRGN）	2 件
その他（Others）	3 件